

薬学委員会

薬剤師職能とキャリアパス分科会（第24期・第1回）

日時 平成30年1月18日（木）10:00～12:00

場所 日本学術会議6階 6-C会議室（1）

出席者 平井みどり、望月眞弓、入江徹美、堤 康央、橋田 充、安原眞人、矢野育子

議事

1. 平井第二部会員から、本分科会の位置付けについて説明があった。
2. 分科会役員として、安原委員長、入江副委員長、矢野幹事を選出した。
3. 第23期の活動と課題について、安原委員長から説明があった。
4. 第24期で発出予定の報告書の内容について意見交換を行った。

5. 会議メモ

資料1 チーム医療における薬剤師の職能とキャリアパス分科会（第23期・第5回）議事録

資料2 第23期チーム医療における薬剤師の職能とキャリアパス分科会活動報告

資料3 一般社団法人日本専門医機構理事長就任挨拶

資料4 薬剤師レジデント募集医療機関の一覧

- ・ 報告書では、「レジデント（初期研修）制度」を主軸とするが、専門薬剤師制度についても触れる。
- ・ レジデントの意義は？
 - 1) 医師とは違う視点で薬物治療に関わる、臨床能力に長けた薬剤師の養成は必須である。
 - 2) 免許を持って研修するのと学生実習では全然違う（ルーブリックの3つめにいくには、レジデントが必要？）。
 - 3) エリート薬剤師を育てるという考え方（大阪大学の例など）と、臨床薬剤師全てに必要という考え方がある。
 - 4) 保険薬剤師での在宅業務、健康サポート薬局、かかりつけ薬剤師など、ヒトを対象とした業務には、病院での研修経験（レジデント）が必要ではないか？
- ・ 次回の会議での内容（意見聴取等）についてはメール会議で決める。
- ・ 医師に委員に入ってもらってはどうか？

その他：

- ・ 日本薬剤師会で作成されている「薬剤師行動規範」を参照する。
- ・ レジデント制度の費用対効果について触れられるか（安全管理面での算出など）？
横浜市立大学の安川文朗先生（経済学者）や、国際医療福祉大学の池田俊也先生にお話を伺ってはどうか？
- ・ 薬学6年制の制度設計時に、臨床研修を必修かするという議論もあったが、その場合は6年ではなく、4年＋1年で良いという議論となった経緯がある。
- ・ 厚労省の広告できる専門医の基準として、「会員数が1000人以上で、その8割以上が当該認定に係る医療従事者であること」があるために、従来の「～学会」から派生する形で「～薬学会」が新規学会として出来た経緯があるが、チーム医療の観点からは問題である。
- ・ 薬局業務の規制緩和の中で、対人業務を強化することが重要。
- ・ モデルケースあるいはビジネスケースを示す。
- ・ 都会と地方でのレジデントの在り方は違う。
- ・ 研修カリキュラムの質保証はどうするか？

以上。